

事前評価チェックシート

計画の名称： カーボンニュートラルな社会の実現に資する道路維持管理

事前評価	チェック欄
<p>I. 目標の妥当性 本計画の目標である、浜松市道路脱炭素化計画の推進は上位計画である「浜松市カーボンニュートラル推進計画」との整合が確保されている。</p>	○
<p>I. 目標の妥当性 地球温暖化に伴う気候変動の影響により、豪雨自然災害等が激甚化・頻発化しており、市民の生活基盤や防災に深刻な影響を与えることから、地球温暖化対策として脱炭素化に資する事業を推進することは喫緊の課題である。当該事業では、トンネル照明灯及び道路照明灯のLED化、舗装修繕工事への低炭素アスファルトの導入を推進することで、エネルギー使用に</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 本計画の目標である、エネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量削減によるカーボンニュートラルな社会の実現は、トンネル照明灯及び道路照明灯のLED化率、舗装修繕工事における低炭素アスファルトの導入率の目標を達成することにより実現されることから、整備計画の目標と定量的指標であるLED化率・導入率との整合性が確保されている。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 本計画の定量的指標は、トンネル照明灯及び道路照明灯のLED化率、舗装修繕工事で使用する低炭素アスファルトの導入率であり、明瞭性がある。現況のLED化率、導入率を把握しており、事業完了後も把握することが可能である。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 本計画の事業内容は、エネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量を削減するための対策として、現在低圧ナトリウム灯等を使用しているトンネル照明灯及び道路照明灯のLED化、舗装修繕工事に使用するアスファルトのうち低炭素アスファルトの導入を推進することから、目標と事業内容との整合性が確保されている。</p>	○
<p>II. 計画の効果・効率性 トンネル照明灯及び道路照明灯のLED化、舗装修繕工事における低炭素アスファルトの導入を推進することで、エネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量を削減し、カーボンニュートラルな社会を実現することができる。</p>	○
<p>III. 計画の実現可能性 本市では、2030年度における市域全体の温室効果ガスの排出削減目標を2013年度比52%、市有施設の運営に伴う温室効果ガスの排出削減目標を2013年度比55%と定めており、浜松市カーボンニュートラル推進計画に基づき、目標達成するために、市民、事業者、行政が一体となって、より積極的に温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。当該事業</p>	○
<p>III. 計画の実現可能性 トンネル照明灯及び道路照明灯のLED化については、低圧ナトリウム灯と比べて省エネルギーであることに加えて明るさも優れることから、本事業に対する市民の関心は高い。低炭素アスファルトの導入については、静岡県アスファルト合材協会等の業界団体も導入に意欲的であり、官民連携により舗装修繕工事におけるエネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量削</p>	○